

平成22年度認知症高齢者支援にかかる取り組みについて

平成22年7月

大阪市 健康福祉局 高齢福祉担当

平成22年度 認知症高齢者支援の取組み（イメージ）

～地域における医療と介護の連携を中心として～

認知症高齢者支援ネットワークの構築

認知症高齢者支援ネットワーク事業（区社協委託）

平成20年度から認知症高齢者支援ネットワーク(モデル)事業を実施した8区(中央区・東淀川区・城東区・北区・此花区・天王寺区・東成区・東住吉区)での成果を踏まえ、新たに5区(都島区・西淀川区・港区・生野区・平野区)において、各地区医師会等の協力を得て、かかりつけ医と地域包括支援センターを核として具体的な連携方策を検討・実施しながら、区における認知症高齢者支援ネットワークづくりを目指す。

かかりつけ医認知症対応力向上研修事業（府医師会委託）

高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医(かかりつけ医)に、適切な認知症診断の知識・技術などの習得に資する研修を実施することにより、認知症サポート医の連携の下、地域包括支援センターなどの関係機関と連携を図るなど、医療と介護が一体となり認知症の人への支援体制の構築を目指す。

認知症サポート医養成研修（府医師会の推薦により市が派遣）

認知症にかかる地域医療体制構築の中核的な役割を担う「認知症サポート医」を全区に1名以上配置できるよう平成22年度については、11名の養成を行う。

認知症地域ケア多職種共同研修事業（地区医師会委託 専門職研修 区社協委託 認知症高齢者支援者研修）

平成21年度に認知症高齢者支援ネットワーク事業を実施した5区(北区・此花区・天王寺区・東成区・東住吉区)においてその成果を活かしつつ、地域における認知症対策についての意識の向上と共通理解を更に深めるため、医療や介護の専門家などの認知症支援に携わる専門職及び地域の高齢者支援に携わる住民組織・関係者等多職種への研修を実施する。

認知症対策連携強化事業（市社協委託）

認知症の専門的医療の提供体制を構築するため、認知症疾患医療センターとして3病院(大阪市立弘済院附属病院、ほくとクリニック病院、大阪市立大学医学部附属病院)が指定されたことに伴い、これに対応して東淀川区、城東区、阿倍野区の3地域包括支援センターに認知症連携担当者と嘱託医(認知症サポート医)を配置し、地域における認知症ケア体制及び医療との連携体制の更なる強化を図る。

認知症介護研修事業（市社協委託）

介護を提供する事業所を管理する者や実務者等に認知症高齢者の介護に関する専門的な研修を実施することにより、認知症高齢者の介護サービスの技術向上を図る。

認知症高齢者支援ネットワークへの専門的支援事業（市）

大阪市立弘済院が認知症の専門医療機能と専門介護機能の一体的な提供によりこれまで培ってきたノウハウを整理し、地域包括支援センターをはじめとする関係機関への情報提供、職員研修や市民への情報発信などに活用する。

認知症高齢者及び介護家族への相談支援

コールセンター（認知症対策普及・相談・支援事業）（市）

認知症の方やその家族の方が抱えている悩みや不安について、認知症介護の経験者が対応し、精神的な負担をできる限り軽くできるよう相談に応じる。

「認知症支え合いコールセンター」

相談電話番号：06-6871-8277

(月～金曜日 午前10時～午後4時 祝日・年末年始を除く)

専門相談(大阪市社会福祉研修・情報センター)（指定管理・市社協）

認知症に関する医療介護、福祉サービスの相談や、精神科医師による認知症高齢者の専門相談を行います。

認知症理解の普及促進

認知症サポーター養成事業（市社協委託）

認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す。また、認知症サポーターの講師役となるキャラバンメイトを養成する。